

度ヲ持ニ居レリ
右ノ状現ナレテ次ヲ引續キ發成中
右及申(通)報候也

別記一

聲明書

(系文のまゝ)

親交なる従業員諸君

元より吾々の胸中には自治会も亦従業員の一員であり同志であると言ふ感より他にはなかつたのであるが昨日自治会の名の下に發表せられた聲明書が余りにも實根の事實を説き、やがに書きてたものであるが如何に階級道徳を貴視したのであるかは、しほりく置きて、誠にもかゝる書かれたる確信が他眞に諸君の心情を迷す如き事あつては甚だ遺憾な事と思ふ故に我々は自治会最高幹部の首魁を思ふが故に今日迄茶衣を振りし後過の眞相を發表し諸君にいつれが正しいのかを判断せしむはんとするつもりである。

吾が向島支部はつとに諸君の窮迫せる生活に救ふため、最も安い賃銀の値上げを要求するべく考へてゐた。然るに自治会も亦同一意見を持つてゐるを知り、提携し事々貴徹すべきと固つた然るに何故か自治会の諸君甘んぢて下さるべきと主張して止まらなかつた。我々は深く自治会に力づき且慎重に事の進捗を切望し、協力之を応援する事を決意したものである。

此の意味は實に吾々の胸中には自治會、総同盟の差別なく、只々全従業員の生活が善くおればと云ふ事のみを念じたもの外ない。然るに自治會は去る三十一日に充分な收賃を得ずして更に我書を出し、未だ何等の回答に達せざりし中、ストライキを敢行した。其の結果は諸君の知る如くであり、いそがに我々も憂へたる如く遂に従業員、面目を失墜する以外に効果かかつた